

第62号 富士山ボランティアセンターニュース

発行：富士山ボランティアセンター

0555-20-9229

URL <http://www.eps4.comlink.ne.jp/fujisan/>E-mail fujisan@eps4.comlink.ne.jp

山梨県、静岡県合同！富士山山頂キャンペーン8月4日(木)



雲の上、日本一高いところでキャンペーン

富士山憲章山梨県推進会議は、夏山シーズンの真っ最中8月4日、富士山憲章の普及定着のためのキャンペーンを行いました。今回は、静岡県と合同で行う、初めての山頂キャンペーン。静岡県からは、静岡県庁の自然保護

室の職員、山梨県からは富士山レンジャーを含めた関係職員が合計14名が、富士山山頂で合流し、吉田口と富士宮口で、啓発グッズを登山客約200人に配布しました。

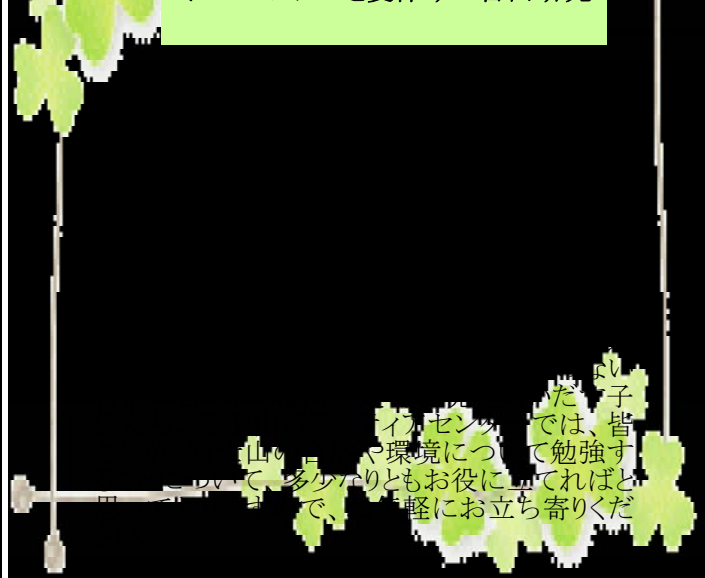
富士山エコトレッキング～吉田口登山道 8月8日(月)

富士吉田市との共催で行った、盛夏の吉田口登山道エコトレッキング。今回は定員30名を超える応募を頂きました。(先着順で締め切り)当日は、体調が悪い方などの欠席がありましたが、24名の参加者が富士ビジターセンターに集合しました。



内容は、五合目ロータリー～泉ヶ滝～佐藤小屋～馬返し～大石茶屋～中の茶屋までの長い道のりを、約6時間かけて、自然と歴史の解説を聴きながらの美化清掃です。様々な夏の山野草に彩られた緑の回廊を一行は進みました。日常の喧噪や暑さから解放された参加者の皆さんは、ゆっくりとした時間を楽しまれたようです。終了後のアンケートでは、ほとんどの方から、「楽しかった」「富士山の自然に感動した」「自然と歴史の解説がとても良かった」との感想を、また「次回も参加希望」との回答もいただきました。今後も富士山ボランティアセンターでは、富士山が与えてくれる新しい発見、新しい感動を、一人でも多くの皆さんにお届けできるような活動をして参ります。

ミニエコツアーと夏休みの自由研究



富士山レンジャー、シャトルバス利用者への啓発活動 8月18日(木)～8月24日(水)

富士山を訪れる方へ

美しい富士山を継承するためのマナー&ルール
富士山の自然環境は壊れやすく、大変貴重です。美しい富士山を継承するために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- ▶ ゴミは捨てずに、すべて持ち帰る
富士山五合目から頂上にかけてごみ箱は設置されていません。ゴミ捨ては絶対禁止です。ゴミはすべて自宅まで持ち帰りましょう。
- ▶ 登山道をはずれて歩かない
登山道でない場所を歩くと、危険なばかりか自然の地形が壊れ、崩落を招くこととなります。写真の撮影の際も登山道を歩かないようにしましょう。
- ▶ 動植物・浮遊等を採取しない
動植物等の採取は貴重な生態系に悪影響を与えます。また、場所によっては法律により禁止行為となっています。野生動物への餌やりもやめましょう。
- ▶ 野外排せつはせず、トイレはきれいに使用する
指定のトイレで利用しましょう。トイレの便桶内にはゴミを入れません。ティッシュペーパーも分別してください。維持管理のためにチップの支払いをお願いします。(100～200円程度)
- ▶ ペットを連れて登らない
野生動物に被害を与え、外来生物導入の原因となります。他の利用者への迷惑にもなるため、ペット連れ登山はやめましょう。

↑ 富士山ボランティアセンター
富士山レンジャー ↓

富士山レンジャーが、マイカー規制中に設けられた山麓の無料駐車場で、富士山の環境保全を呼びかける啓発活動を行いました。マイカーからシャトルバスに乗り換える人々を対象に、啓発物品と一緒に富士山を訪れる際のマナーとルールを示したチラシを、およそ1600人に配布。災害復旧工事のため、例年より長く設けられたマイカー規制期間、登山客や観光客の意識の醸成を図りました。



シャトルバスを利用される方に、一人一人声をかけてゆく、富士山レンジャー。お天気や、マイカー規制に対する質問にも丁寧に答えます。

富士山の体重が1.1トン減る！ 平成17年度山岳ボランティア富士山クリーン作戦 8月27日(土)、28日(日)



山梨県山岳連盟と山小屋関係者等の協力により実施する富士山クリーン作戦。吉田口登山道五合目から八合五勺までの山腹部の美化清掃活動は、今年で4度目。

参加者は、山岳連盟37名、山小屋関係者38名、富士山憲章山梨県推進会議関係職員12名の合計87名。八合目以上を先発隊、七合目以下を後発隊と二手に分かれ、傾斜の急な山腹部に放置された、およそ1.1トンのゴミを収集しました。



